

テープあれこれ

先月までポールについていろいろとお話しをしてきました。が今月はちょっと路線を変更し、指穴、今回は特に親指の指穴に貼るテープについて少しお話しをしていきたいと思います。

テープについては以前にひとごととてコーナーで少しお話しをしましたが今回改めて書いてみたいと思います。ポールの指穴に貼るテープの役割には大きく分けて二つの役割があります。

まずは指穴サイズの調整のためです。個人差がかなりありますが、気候や体調などに指の太さは違いがあります。いざボウリング場にきてさ



あ投げようと思ったときに「きつくて入らない」とか「指がスカスカで緩い」と言った経験をしたかたは少なくないかもしれません。そんなとき指穴の大きさは変えることができませ

る。指穴調整に使用するのには一般的にはインサートテープなどが該当します。このテープ使用頻度にもよりますが、繰り返し何度かは使用することが可能です。

もう一つの役割や「指の滑り」の調整です。



近はいろいろな種類のテープが発売されており、指抜けが悪い方には滑りがよくなるテープがあります。一方で滑りすぎて困る方には滑り止め効果のテープを使用します。しかし、例えば滑るテープを貼ったときに滑りすぎてポールを落としてしまったり、その逆もありますので注意が必要です。

テープを貼る位置については個人差がありますが、親指の腹側と背中側が当たる位置を基本とします。右投げの場合ですと、腹側に当たるようにするには一時から二時の方向、背中側に当たるようにするには七時から八時方向にあるのが基本となります。もちろん抜け方や指の形などによりそれ以外の場所にも当然貼ることもあります。

テープの種類や貼り方などは千差万別なのでご自身に合うものを見つけていただきたいと思います。最初はわからないことが多いので遠慮なく相談をしてください。

〈ドリラーのひとごと 第31話〉

ハンディキャップ

大会やリーグなどでつくハンディキャップですが大きくわけて二つのパターンがあります。ひとつは年齢や性別により固定の値がつくもの、もうひとつはご自身のアベレージによって算出されるものがあります。

〈アベレージ算出方法〉

(〈基準アベレージ〉 - 〈ご自身のアベレージ〉) × (80~90%)

当センターの場合 アベレージが175の場合
(205-165) × 85% = 34
⇒ハンディキャップ : 34

当センターの場合でアベレージが一六五の方は三四と計算されていきます。なお基準のアベレージや割合などについてはセンターにより異なります。男女により割合を変えるセンターもあります。

アベレージは大会での実力差をなくすために設定されていますが、ハンディキャップが多いことを喜ばないでください。ゴルフをされる方などはシングルプレイヤーを目指すのと同様にボウリングのハンディキャップも当然ながら「ゼロ」になるように日々努力しましょう。その指標がハンディキャップかもしれません。

〈筆者〉



佐取賢アD(44期)
JPBA/PBAアDのクラ
JPBA B級インストラク
JBC公認ドリ

はなこしよこはなこしん

大好評!

佐取プロレッスン会

今月は 8月 27日(日) 20:00~21:30 ¥1,500